

2018/7~2018/9

# にっしん景況レポート

Vol.

10

2018/10



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、平成30年7~9月の景気の現状と平成30年10~12月期の見通しを調査する景気動向調査を実施しました。

対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

## 〈調査概要〉

1. 調査対象期間 : 平成30年7~9月の実績(9月については予想)  
平成30年10~12月の見通し
2. 調査方法 : 営業店調査員による面接聴き取り
3. 調査対象先 : 当金庫営業エリア内の352社
4. 分析方法 : D.I.という指標を用いた分析。  
D.I.とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、各質問項目について、「増加(良い、上昇)」とプラスの回答をした企業の割合(%)から、「減少(悪い、下降)」とマイナスの回答をした企業の割合(%)を差引いた指標で、構成比の差が判断D.I.となります。  
各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強いのか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。
5. 期間について : 今期 = 平成30年7~9月  
前期 = 平成30年4~6月  
前年同期 = 平成29年7~9月  
来期 = 平成30年10~12月
6. 業種別、地区別回答数

|      | 地区合計 | 製造業 | 卸売業 | 小売業 | サービス業 | 建設業 | 不動産業 |
|------|------|-----|-----|-----|-------|-----|------|
| 明石地区 | 150  | 47  | 21  | 18  | 25    | 19  | 20   |
| 三木地区 | 51   | 17  | 10  | 5   | 8     | 8   | 3    |
| 神戸地区 | 151  | 24  | 24  | 17  | 38    | 25  | 23   |
| 業種合計 | 352  | 88  | 55  | 40  | 71    | 52  | 46   |



日新信用金庫

The Nisshin shinkin bank

## ● 今期の景況

今期(平成30年7月～9月)の全業種における業況判断D.I.は5.7となり、前期実績と比して1.7ポイント低下した。売上額判断D.I.は10.2となり、前期実績と比して12.5ポイントの改善、収益判断D.I.は1.1となり、前期実績と比して5.1ポイント改善した。

売上額判断D.I.の前年同期比は14.8、収益判断D.I.の前年同期比は9.1となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲42.3となり、前期実績より3.6ポイント改善したものの、調査開始の平成28年4月から依然として人手不足感が強い状況となっている。

## ● 来期の見通し

来期(平成30年10月～12月)の予想業況判断D.I.は13.1と今期実績5.7から7.4ポイント改善する見通しとなっている。また、予想売上額判断D.I.は24.5、予想収益判断D.I.は16.2となり、いずれも今期実績から改善する見通しとなっている。

### 〈「御社の業況」回答数〉

|      | 良い   | やや良い  | 普通    | やや悪い  | 悪い   | 合計   |
|------|------|-------|-------|-------|------|------|
| 回答数  | 12   | 82    | 184   | 62    | 12   | 352  |
| 回答割合 | 3.4% | 23.3% | 52.3% | 17.6% | 3.4% | 100% |

$$\text{業況判断D.I.} = 26.705\% - 21.023\% \div 5.7$$

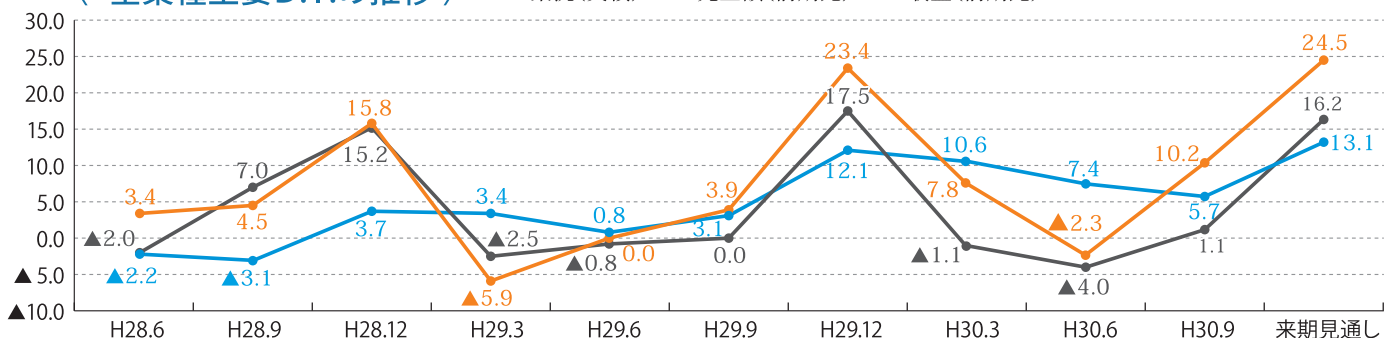
### 〈平成30年7～9月地区別業況判断D.I.〉

|      | 全業種  | 製造業  | 卸売業   | 小売業   | サービス業 | 建設業   | 不動産業 |
|------|------|------|-------|-------|-------|-------|------|
| 明石地区 | 10.0 | 25.5 | ▲19.0 | ▲33.3 | 16.0  | 36.8  | 10.0 |
| 三木地区 | 2.0  | 17.6 | 20.0  | ▲60.0 | ▲12.5 | ▲12.5 | 33.3 |
| 神戸地区 | 2.6  | 4.2  | 4.2   | 11.8  | ▲5.3  | 16.0  | ▲8.7 |
| 全地区  | 5.7  | 18.2 | ▲1.8  | ▲17.5 | 1.4   | 19.2  | 2.2  |

### 〈全業種総合主要D.I.〉

|            | 前期<br>(実績) | 今期<br>(実績) | 来期<br>(見通し) |             | 前期<br>(実績) | 今期<br>(実績) | 来期<br>(見通し) |
|------------|------------|------------|-------------|-------------|------------|------------|-------------|
| 業況(実績)     | 7.4        | 5.7        | 13.1        | 販売価格(前期比)   | 6.9        | 8.3        | 8.0         |
| 売上額(前期比)   | ▲2.3       | 10.2       | 24.5        | 仕入価格(前期比)   | 33.3       | 33.8       | 25.6        |
| 売上額(前年同期比) | 12.5       | 14.8       | —           | 資金繰り(楽一苦)   | 3.1        | ▲1.1       | 1.1         |
| 収益(前期比)    | ▲4.0       | 1.1        | 16.2        | 人手不足(過剰一不足) | ▲45.9      | ▲42.3      | ▲43.9       |
| 収益(前年同期比)  | 6.8        | 9.1        | —           |             |            |            |             |

### 〈「全業種主要D.I.の推移」〉



## ● 今期の景況 .....

今期の業況判断D.I.は18.2となり、前期実績と比して5.4ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は11.4、収益判断D.I.は▲4.5となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は5.8ポイント改善、収益判断D.I.は1.1ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は17.0、収益判断D.I.の前年同期比は12.5となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲44.3となり、前期実績から0.5ポイント低下し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

## ● 来期の見通し .....

来期の予想業況判断D.I.は18.2と今期実績と変わらない見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は20.7、予想収益判断D.I.は8.0となり、それぞれ今期実績から9.3ポイント、12.5ポイント改善する見通しとなっている。

## 〈製造業主要D.I.〉

|            | 前期<br>(実績) | 今期<br>(実績) | 来期<br>(見通し) |             | 前期<br>(実績) | 今期<br>(実績) | 来期<br>(見通し) |
|------------|------------|------------|-------------|-------------|------------|------------|-------------|
| 業況(実績)     | 23.6       | 18.2       | 18.2        | 販売価格(前期比)   | 12.4       | 8.0        | 9.2         |
| 売上額(前期比)   | 5.6        | 11.4       | 20.7        | 仕入価格(前期比)   | 37.1       | 40.9       | 32.2        |
| 売上額(前年同期比) | 24.7       | 17.0       | —           | 資金繰り(楽-苦)   | 10.1       | 0.0        | 2.3         |
| 収益(前期比)    | ▲3.4       | ▲4.5       | 8.0         | 人手不足(過剰-不足) | ▲43.8      | ▲44.3      | ▲47.7       |
| 収益(前年同期比)  | 10.1       | 12.5       | —           |             |            |            |             |

## ● 今期の景況 .....

今期の業況判断D.I.は▲1.8となり、前期実績と比して1.8ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は7.3、収益判断D.I.は0.0となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は1.8ポイント改善、収益判断D.I.は1.8ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は27.3、収益判断D.I.の前年同期比は16.4となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲30.9となり、前期実績から1.8ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

## ● 来期の見通し .....

来期の予想業況判断D.I.は5.5と今期実績から7.3ポイント改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は21.8、予想収益判断D.I.は16.4となり、それぞれ今期実績から14.5ポイント、16.4ポイント改善する見通しとなっている。

## 〈卸売業主要D.I.〉

|            | 前期<br>(実績) | 今期<br>(実績) | 来期<br>(見通し) |             | 前期<br>(実績) | 今期<br>(実績) | 来期<br>(見通し) |
|------------|------------|------------|-------------|-------------|------------|------------|-------------|
| 業況(実績)     | ▲3.6       | ▲1.8       | 5.5         | 販売価格(前期比)   | 5.5        | 16.4       | 5.5         |
| 売上額(前期比)   | 5.5        | 7.3        | 21.8        | 仕入価格(前期比)   | 21.8       | 21.8       | 10.9        |
| 売上額(前年同期比) | 9.1        | 27.3       | —           | 資金繰り(楽-苦)   | 1.8        | 0.0        | ▲3.6        |
| 収益(前期比)    | 1.8        | 0.0        | 16.4        | 人手不足(過剰-不足) | ▲32.7      | ▲30.9      | ▲27.3       |
| 収益(前年同期比)  | 0.0        | 16.4       | —           |             |            |            |             |

### ● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲17.5となり、前期実績と比して5.0ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲7.5、収益判断D.I.は▲17.5となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は7.5ポイント改善、収益判断D.I.は変わらずとなった。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲7.7、収益判断D.I.の前年同期比は▲15.4となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益が減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲32.5となり、前期実績から2.5ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

### ● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は5.0と今期実績から22.5ポイント改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は27.5、予想収益判断D.I.は20.0となり、それぞれ今期実績から35.0ポイント、37.5ポイント改善する見通しとなっている。

#### 〈小売業主要D.I.〉

|            | 前期<br>(実績) | 今期<br>(実績) | 来期<br>(見通し) |             | 前期<br>(実績) | 今期<br>(実績) | 来期<br>(見通し) |
|------------|------------|------------|-------------|-------------|------------|------------|-------------|
| 業況(実績)     | ▲ 22.5     | ▲ 17.5     | 5.0         | 販売価格(前期比)   | ▲ 2.5      | 7.5        | 5.0         |
| 売上額(前期比)   | ▲ 15.0     | ▲ 7.5      | 27.5        | 仕入価格(前期比)   | 30.0       | 17.5       | 7.5         |
| 売上額(前年同期比) | ▲ 10.0     | ▲ 7.7      | —           | 資金繰り(楽-苦)   | ▲ 25.0     | ▲ 25.0     | ▲ 7.5       |
| 収益(前期比)    | ▲ 17.5     | ▲ 17.5     | 20.0        | 人手不足(過剰-不足) | ▲ 35.0     | ▲ 32.5     | ▲ 37.5      |
| 収益(前年同期比)  | ▲ 12.5     | ▲ 15.4     | —           |             |            |            |             |

### ● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は1.4となり、前期実績と比して2.9ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は18.3、収益判断D.I.は5.6となり、前期実績と比してそれぞれ14.0ポイント、5.6ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は19.7、収益判断D.I.の前年同期比は5.6となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲57.7となり、前期実績よりも9.4ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

### ● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は14.1と今期実績から12.7ポイント改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は38.0、予想収益判断D.I.は26.8となり、それぞれ今期実績から19.7ポイント、21.2ポイント改善する見通しとなっている。

#### 〈サービス業主要D.I.〉

|            | 前期<br>(実績) | 今期<br>(実績) | 来期<br>(見通し) |             | 前期<br>(実績) | 今期<br>(実績) | 来期<br>(見通し) |
|------------|------------|------------|-------------|-------------|------------|------------|-------------|
| 業況(実績)     | 4.3        | 1.4        | 14.1        | 販売価格(前期比)   | 14.3       | ▲ 2.8      | 11.3        |
| 売上額(前期比)   | 4.3        | 18.3       | 38.0        | 仕入価格(前期比)   | 31.9       | 41.4       | 35.7        |
| 売上額(前年同期比) | 22.9       | 19.7       | —           | 資金繰り(楽-苦)   | ▲ 7.1      | ▲ 5.6      | 5.6         |
| 収益(前期比)    | 0.0        | 5.6        | 26.8        | 人手不足(過剰-不足) | ▲ 67.1     | ▲ 57.7     | ▲ 59.2      |
| 収益(前年同期比)  | 15.7       | 5.6        | —           |             |            |            |             |

### ● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は19.2となり、前期実績と比して19.2ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.が19.2、収益判断D.I.が13.5となり、前期実績と比してそれぞれ42.3ポイント、23.1ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は15.4、収益判断D.I.の前年同期比は21.2となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲57.7となり、前期実績から3.9ポイント低下し、さらに人手不足感が強い状況となっている。

### ● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は25.0と今期実績から5.8ポイント改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は34.6、予想収益判断D.I.は26.9となり、今期実績と比して予想売上額判断D.I.は15.4ポイント、予想収益判断D.I.は13.4ポイント改善する見通しとなっている。

#### 〈建設業主要D.I.〉

|            | 前期<br>(実績) | 今期<br>(実績) | 来期<br>(見通し) |             | 前期<br>(実績) | 今期<br>(実績) | 来期<br>(見通し) |
|------------|------------|------------|-------------|-------------|------------|------------|-------------|
| 業況(実績)     | 0.0        | 19.2       | 25.0        | 販売価格(前期比)   | ▲1.9       | 13.5       | 13.5        |
| 売上額(前期比)   | ▲23.1      | 19.2       | 34.6        | 仕入価格(前期比)   | 39.2       | 46.2       | 40.4        |
| 売上額(前年同期比) | ▲3.8       | 15.4       | —           | 資金繰り(楽-苦)   | 5.8        | 15.4       | 1.9         |
| 収益(前期比)    | ▲9.6       | 13.5       | 26.9        | 人手不足(過剰-不足) | ▲53.8      | ▲57.7      | ▲57.7       |
| 収益(前年同期比)  | 5.8        | 21.2       | —           |             |            |            |             |

### ● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は2.2となり、前期実績と比して26.7ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は4.3、収益判断D.I.は8.7となり、前期実績と比してそれぞれ6.5ポイント、8.7ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は6.5、収益判断D.I.の前年同期比は6.5となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲19.6となり、前期実績よりも13.7ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

### ● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は4.3と今期実績から2.1ポイント改善する見通しとなっている。予想売上額判断D.I.は0.0、予想収益判断D.I.は0.0となり、それぞれ今期実績から4.3ポイント、8.7ポイント低下する見通しとなっている。

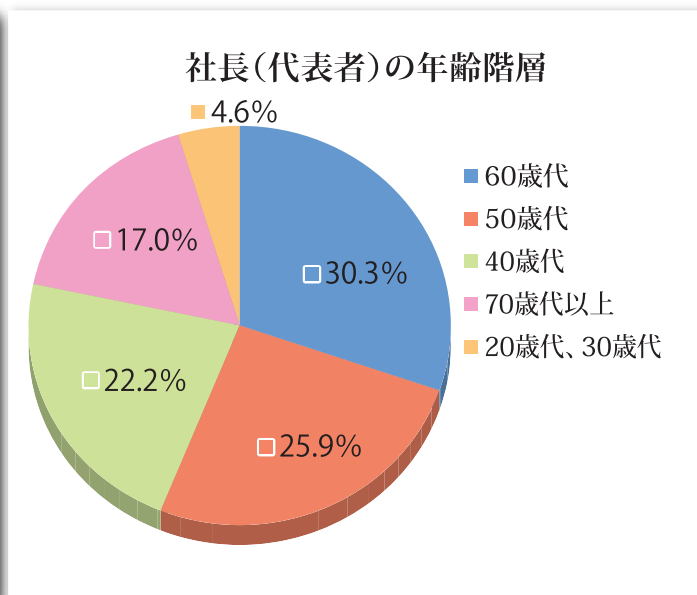
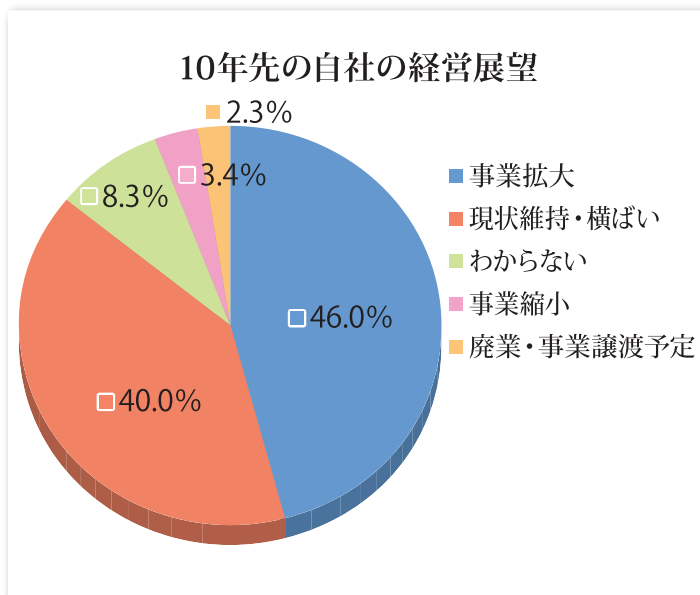
#### 〈不動産業主要D.I.〉

|            | 前期<br>(実績) | 今期<br>(実績) | 来期<br>(見通し) |             | 前期<br>(実績) | 今期<br>(実績) | 来期<br>(見通し) |
|------------|------------|------------|-------------|-------------|------------|------------|-------------|
| 業況(実績)     | 28.9       | 2.2        | 4.3         | 販売価格(前期比)   | 4.7        | 11.1       | 0.0         |
| 売上額(前期比)   | ▲2.2       | 4.3        | 0.0         | 仕入価格(前期比)   | 39.0       | 22.7       | 13.6        |
| 売上額(前年同期比) | 15.6       | 6.5        | —           | 資金繰り(楽-苦)   | 28.9       | 4.3        | 4.3         |
| 収益(前期比)    | 0.0        | 8.7        | 0.0         | 人手不足(過剰-不足) | ▲33.3      | ▲19.6      | ▲22.2       |
| 収益(前年同期比)  | 13.3       | 6.5        | —           |             |            |            |             |

● ～今後10年先の自社の経営について～

社長(代表者)が考える今後10年先の自社の経営展望について、「事業拡大(46.0%)」と回答した企業が最も多く、次いで「現状維持・横ばい(40.0%)」、「わからない(8.3%)」、「事業縮小(3.4%)」、「廃業・事業譲渡予定(2.3%)」となった。「事業拡大」と「現状維持・横ばい」を合わせると80%を超える結果となった。

社長(代表者)の年齢階層については、「60歳代(30.3%)」と回答した企業が最も多く、次いで「50歳代(25.9%)」、「40歳代(22.2%)」、「70歳代(17.0%)」となった。

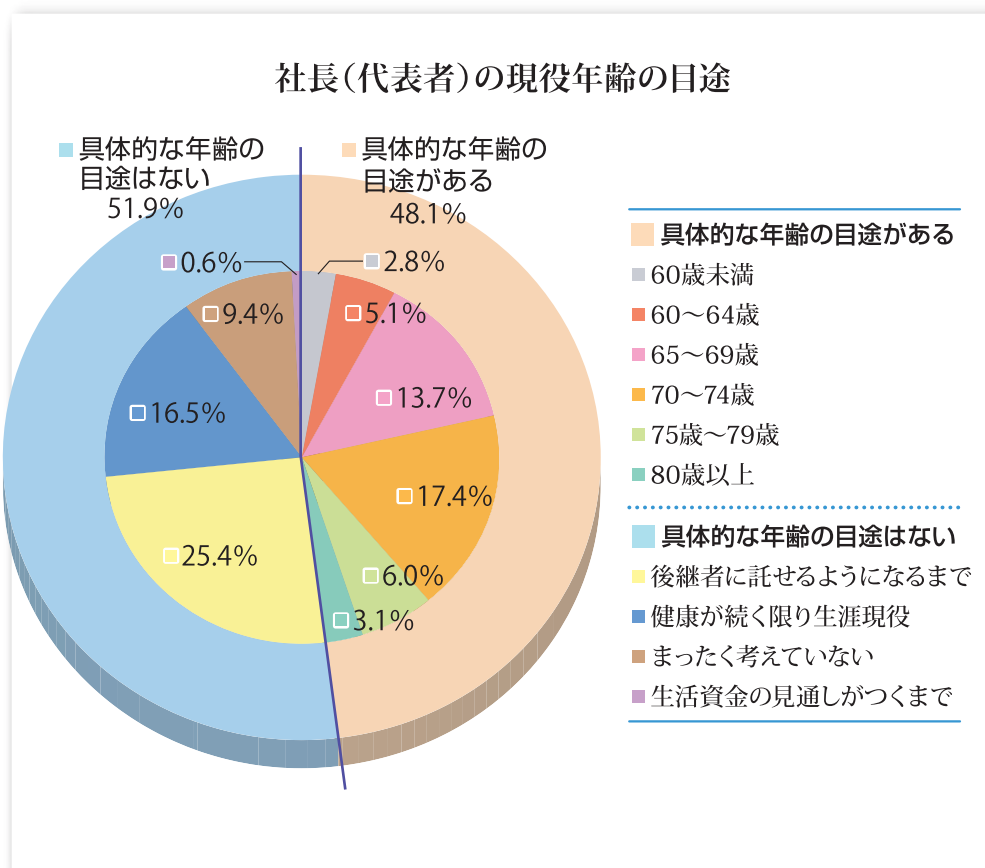


● ～社長(代表者)の現役年齢の目途について～

社長(代表者)が経営者としていつごろまで現役を続けていきたいかについて、「具体的な目途はない」51.9%、「具体的な目途がある」48.1%となった。

「具体的な目途はない」のうち、「後継者に託せるようになるまで(25.4%)」が最も多く、次いで「健康が続く限り生涯現役(16.5%)」となった。

「具体的な目途がある」のうち、「70～74歳(17.4%)」が最も多く、次いで「65～69歳(13.7%)」となった。

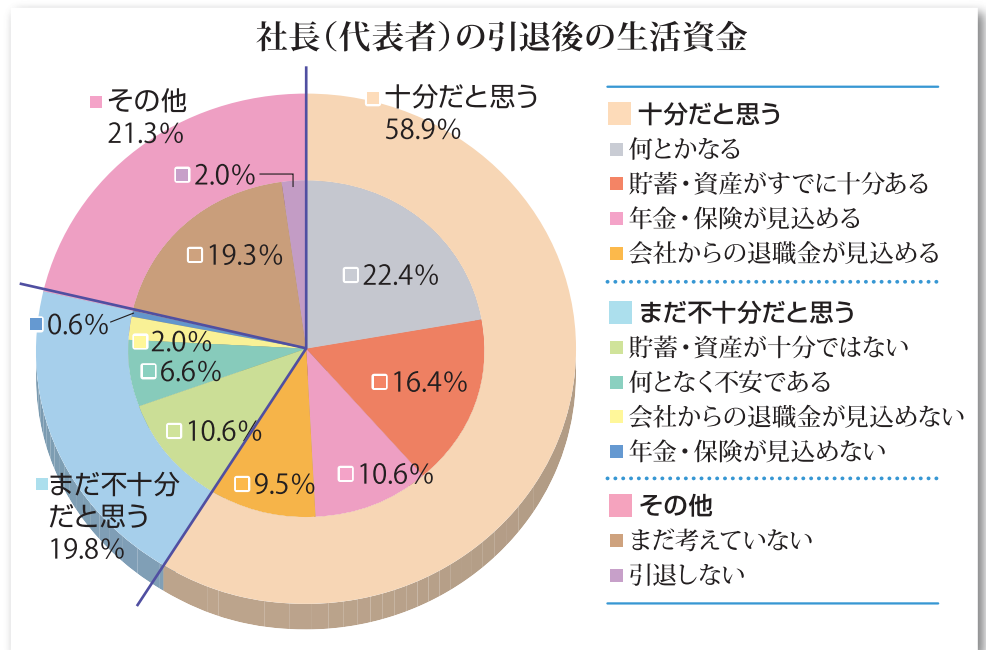


## ● ～社長（代表者）の引退後の生活資金について～

社長（代表者）が経営者を引退した後の生活資金について「十分だと思う」58.9%、「まだ不十分だと思う」19.8%、「その他」21.3%となった。

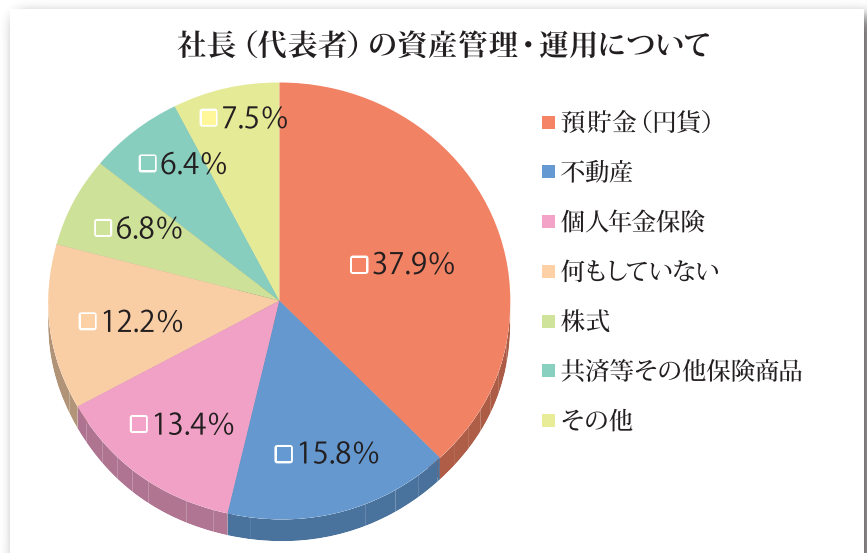
「十分だと思う」のうち、「何とかなる」(22.4%)が最も多く、次いで「貯蓄・資産がすでに十分ある」(16.4%)、「年金・保険が見込める」(10.6%)となった。

「まだ不十分だと思う」のうち、「貯蓄・資産が十分でない」(10.6%)が最も多く、次いで「何となく不安である」(6.6%)となった。



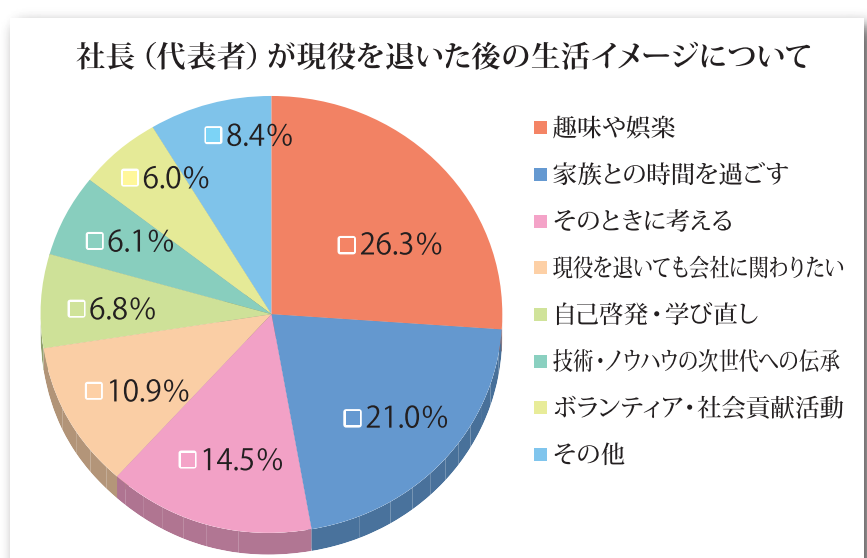
## ● ～社長（代表者）個人の資産管理・運用について～

社長（代表者）の資産管理・運用については「預貯金（円貨）」(37.9%)が最も多く、次いで、「不動産」(15.8%)、「個人年金保険」(13.4%)、「何もしていない」(12.2%)となった。



## ● ～社長（代表者）の現役を退いた後の生活イメージについて～

社長（代表者）が現役を退いた後の生活イメージについては「趣味や娯楽」(26.3%)が最も多く、次いで「家族との時間を過ごす」(21.0%)、「そのときを考える」(14.5%)、「現役を退いても会社に関わりたい」(10.9%)となった。



## イベント関連

### ●「明石公園パパたこリレーマラソン」に協賛します！

平成24年より当金庫が特別協賛している「明石公園パパたこリレーマラソン」が、今年もきしろスタジアム（明石公園陸上競技場）で開催されます。

- 開催日：平成30年11月23日（金・祝） ●開催種目：リレーマラソン、親子マラソン、個人
- 会場：きしろスタジアム（明石公園陸上競技場）

詳細はJTBSポータルステーションホームページ<https://jtbsports.jp/>をご覧ください。 ※既に募集は終了しています。

### ●中小企業の若手社員を集めた合同研修会を実施します！

明石商工会議所との共催で、新入、若手社員の合同フォローアップ研修会を実施します。

本研修会では、入社後の問題点の解決や、現場の経験を踏まえた基本の再確認、また、新たな成長目標の設定で、いち早く“一人前のプロ社員”に育てることを目指します。

- 日時：平成30年11月13日（火）9:30～17:30 ●対象：中小企業に勤務する30歳未満の新入・若手社員
- 会場：明石商工会議所 7階ホール

### ●経営に役立つ少人数制のセミナーを実施します！

当金庫のお客様向けに以下のとおり経営に役立つ少人数制セミナーを実施します。詳しくはお取引店までお問合せください。

#### ■「決算書の仕組み・資金繰り（入門編）」

- ①日時：平成30年11月21日（水）14:30～16:30 ②日時：平成30年12月7日（金）14:30～16:30
- 場 所：日新信用金庫 西宮今津支店 場 所：日新信用金庫 魚住支店

#### ■「LINE@でファンを獲得しよう！」

日時：平成30年11月20日（火）14:30～16:30 場 所：日新信用金庫 本店8階

### ●新春吉本バラエティーショー観劇会を実施します！

今年度も神戸国際会館にて「新春吉本バラエティーショー」を開催します。

11月からご案内を開始する予定ですので、ぜひご来場ください。

- 実施日：平成31年1月7日（月）2回公演  
1回目公演 10:30～13:00（予定） 2回目公演 15:00～17:30（予定）
- 場 所：神戸国際会館「こくさいホール」

- 当金庫の新たな情報発信ツールとして「LINE@」をはじめました。「LINE@」では当金庫からキャンペーン商品のご案内、地域貢献、地域イベントの紹介等を発信しますので、右記QRコードから「友だち」登録をお願いします。




このたびは、第10回中小企業景気動向調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、下記フリーダイヤルまでお問合せください。

 **日新信用金庫**

〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク  
 **0120-15-2489**

（受付時間）平日午前9時から午後5時まで